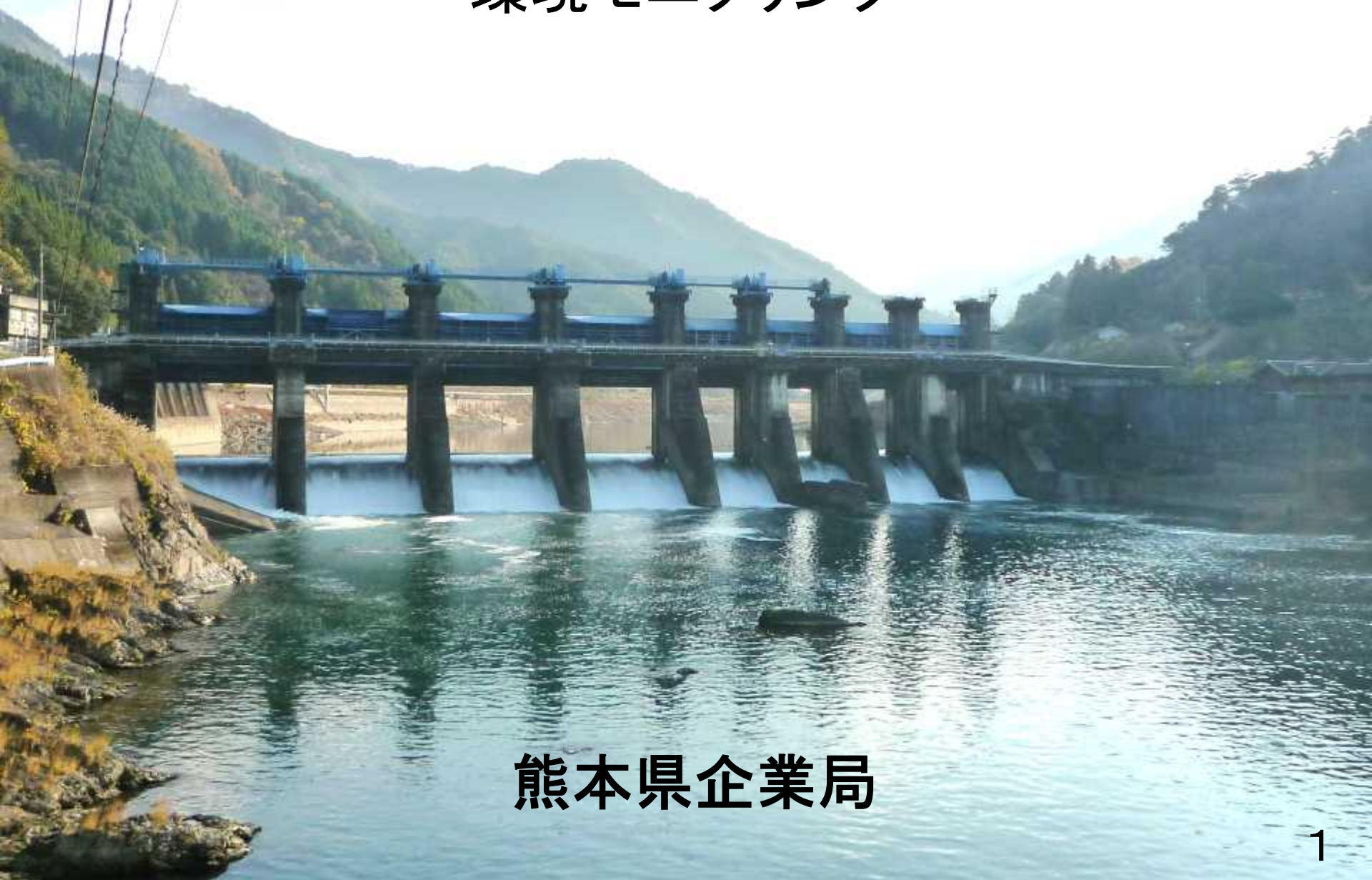


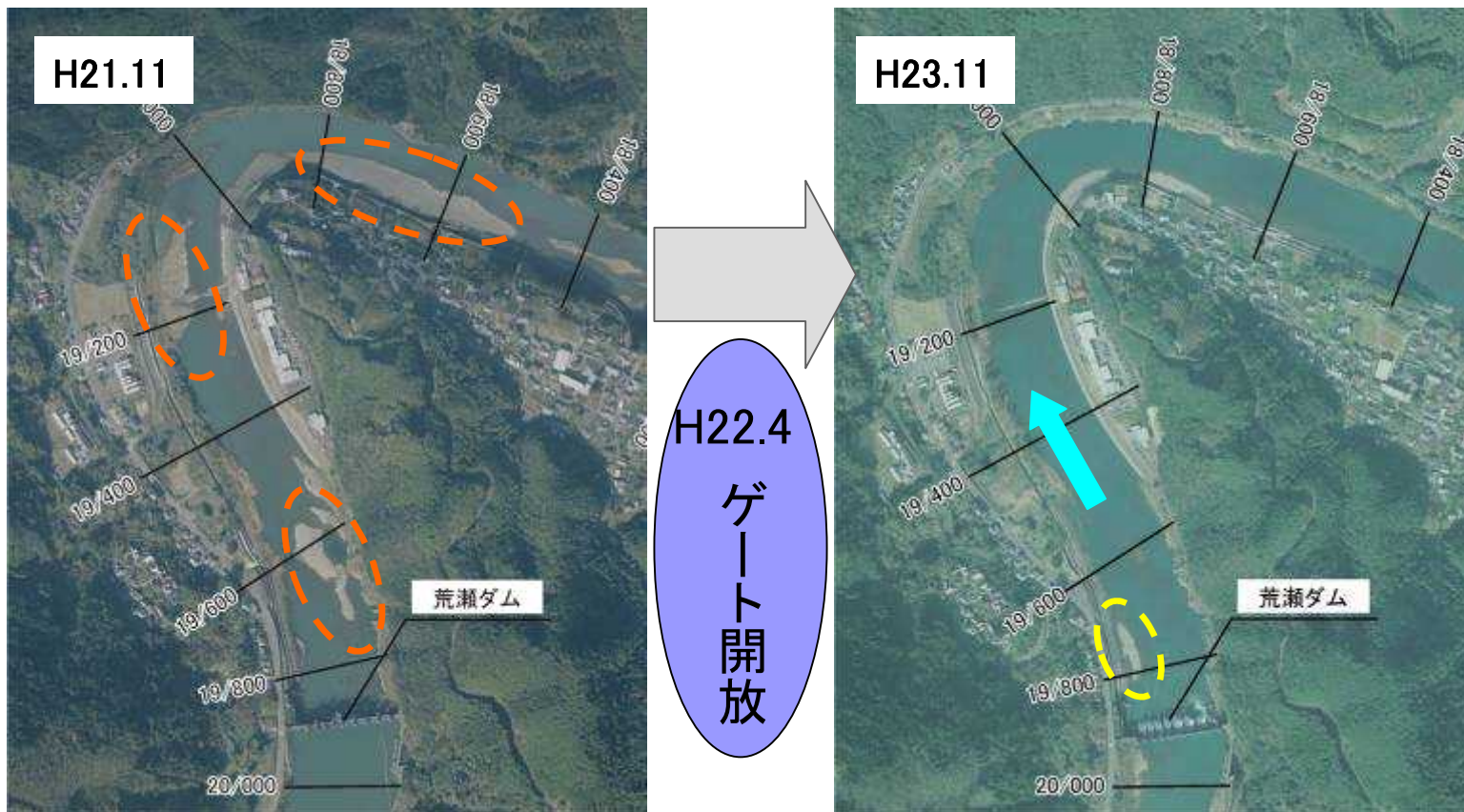
# 環境モニタリング



熊本県企業局

減水区間(ゲート開放により流水に回復する区間)

- 減水区間は水位が上昇している。
- 荒瀬ダム直下流左岸は、砂州が堆積傾向である。

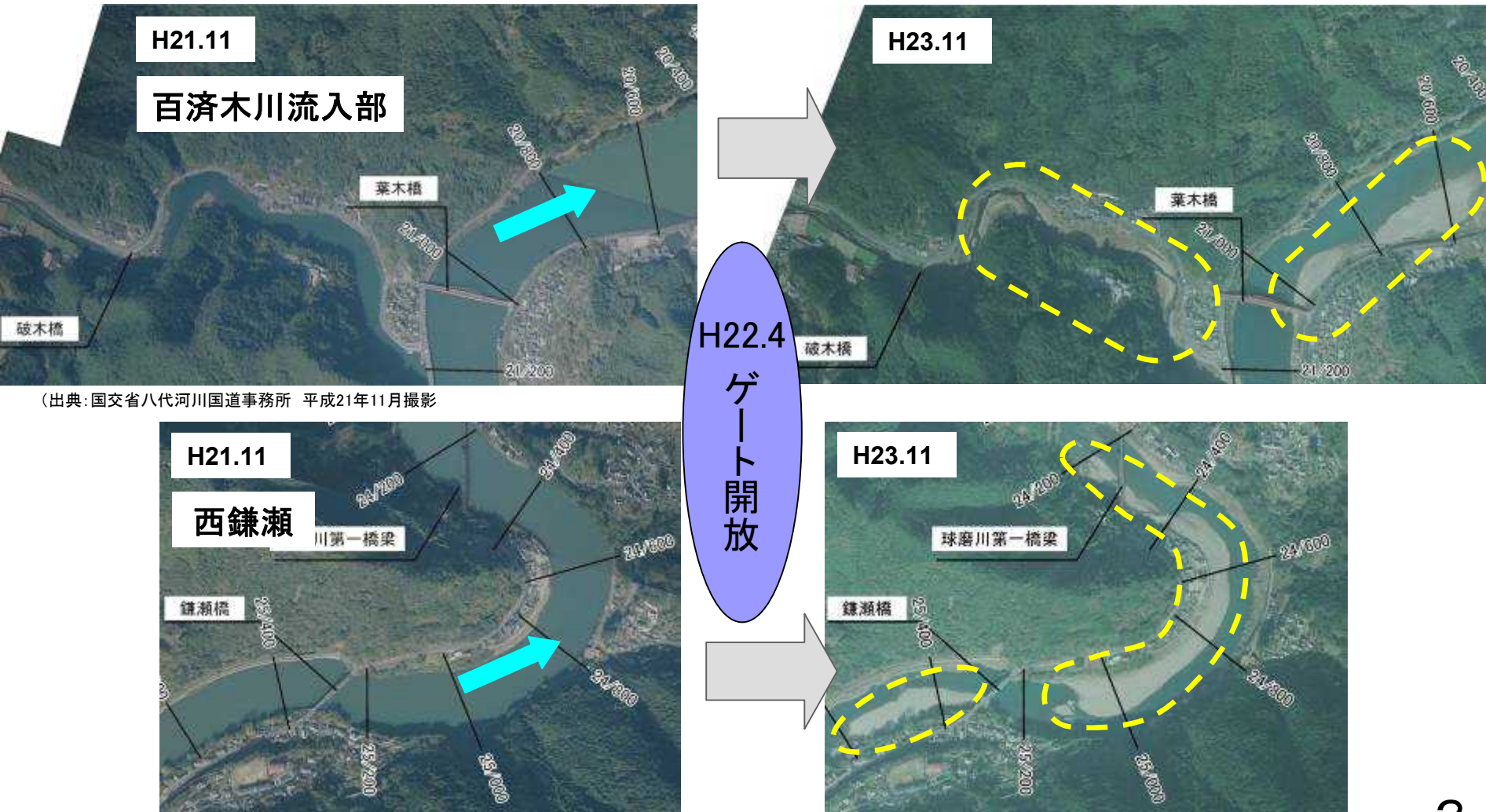


(出典: 国交省八代河川国道事務所 平成21年11月撮影)

# 1 調査結果

流水回復区間(ゲート開放により湛水が流水に回復する区間)

## ■ 流水回復区間は、砂州が新たに露出・拡大。

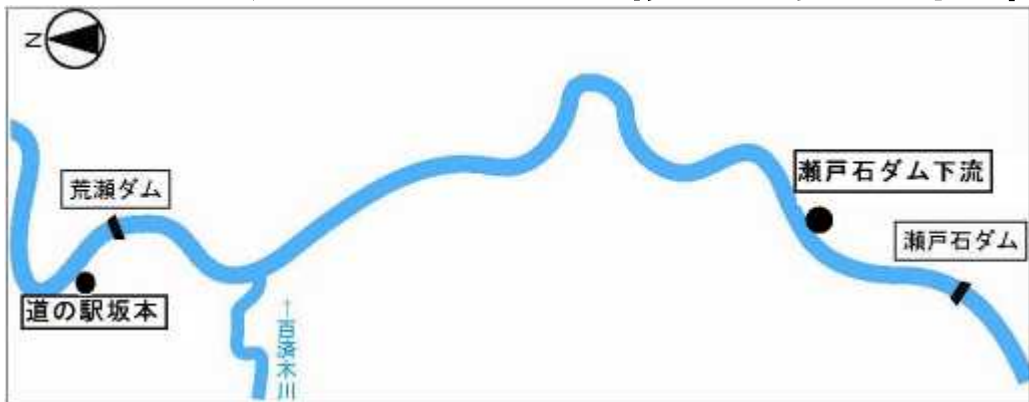


(出典: 国土省八代河川国道事務所 平成21年11月撮影)

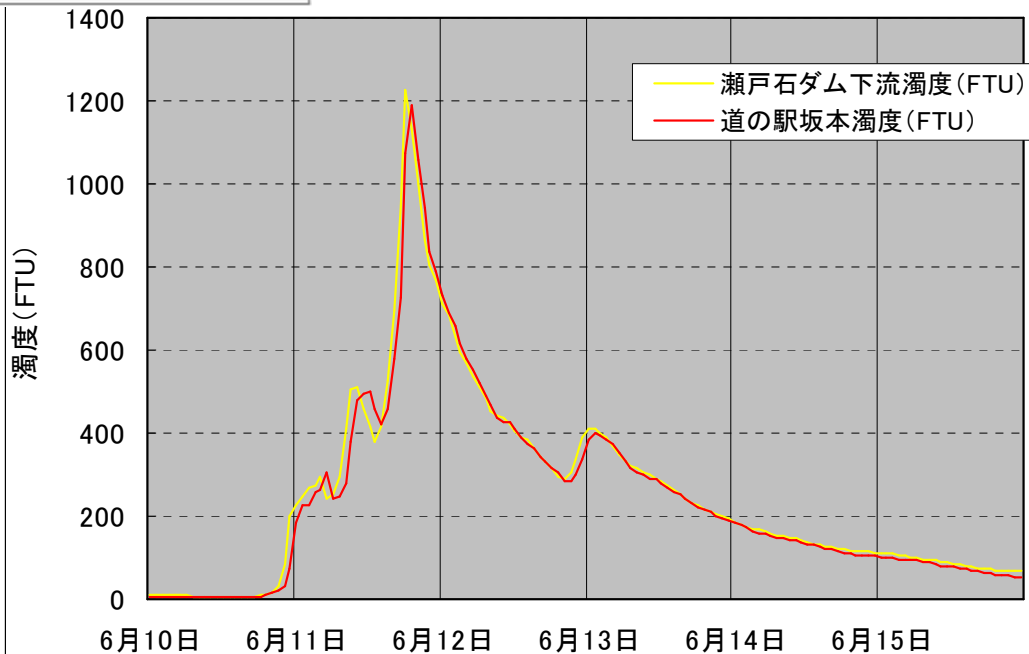
(出典: 国土省八代河川国道事務所 平成21年11月撮影)

## 水質(出水時)

- 出水時(H23.6.11)に、ダム上下流の濁度に差はない。  
→ダム貯水池の堆積土砂の影響は特に見られなかった。



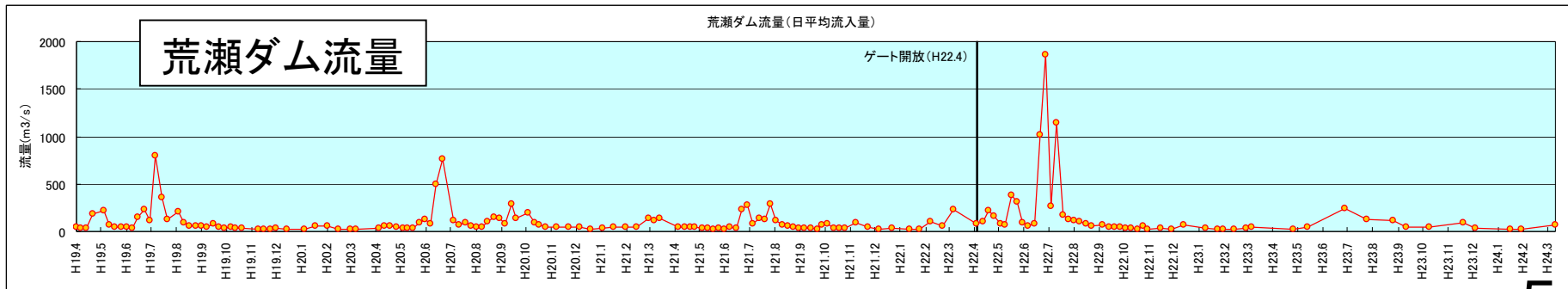
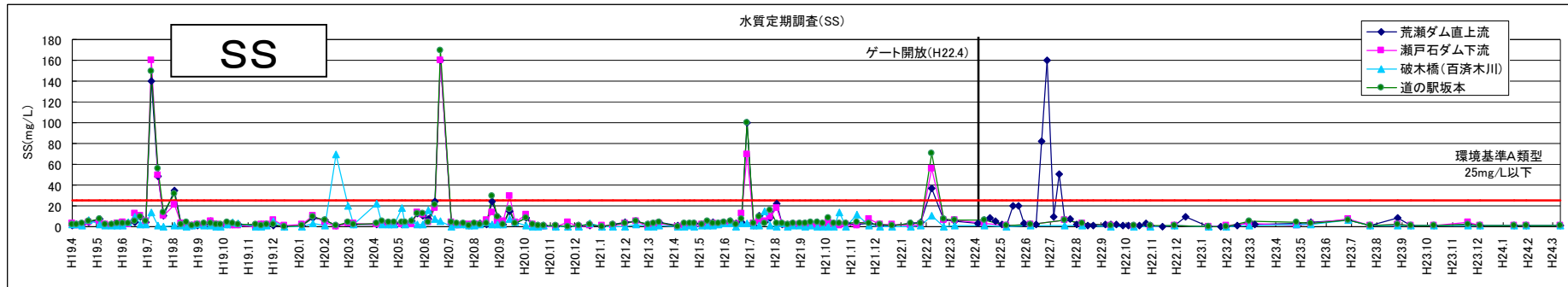
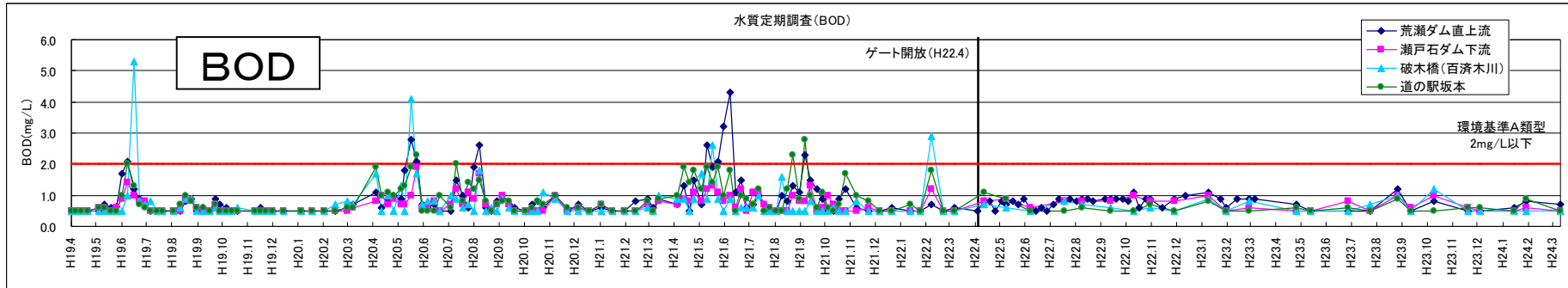
6月11日付近の濁度



# 1 調査結果

## 水質(定期)

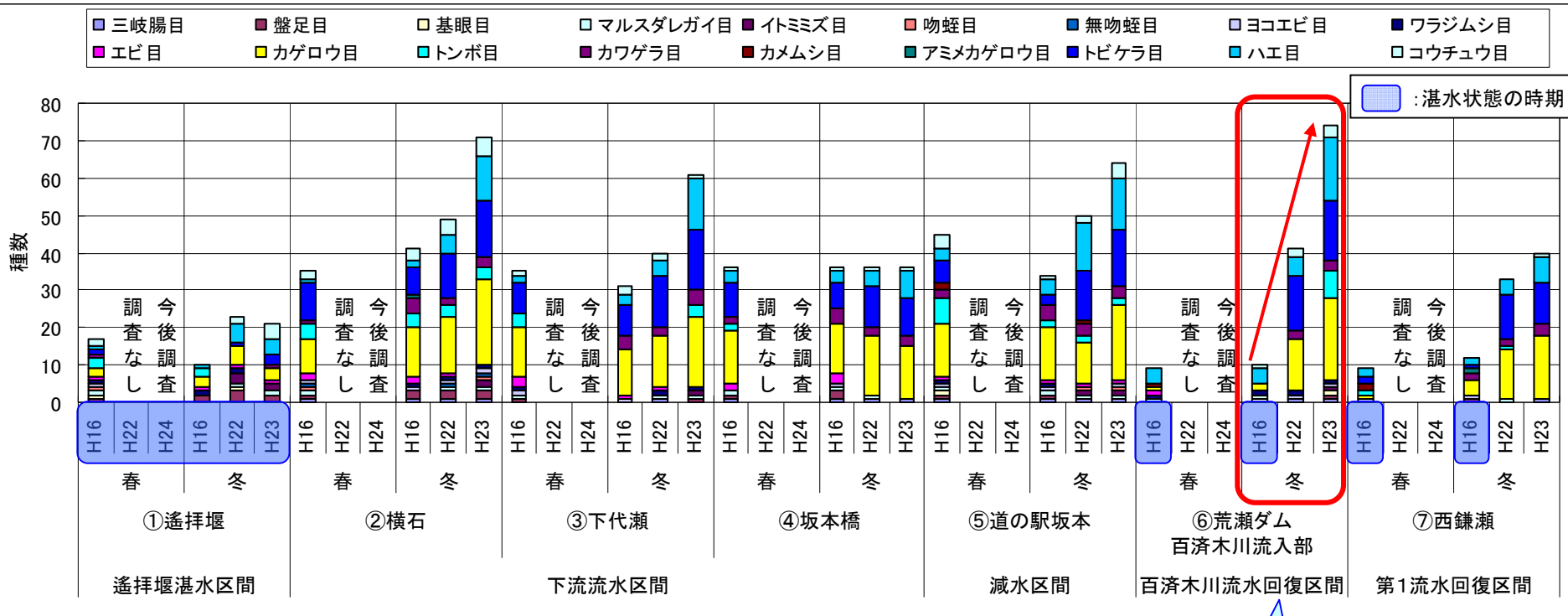
環境基準内(河川A類型)で、ほぼ安定的に推移。



動物:底生動物

■ 百済木川流入部では、増加傾向である。

底生動物の全確認種数



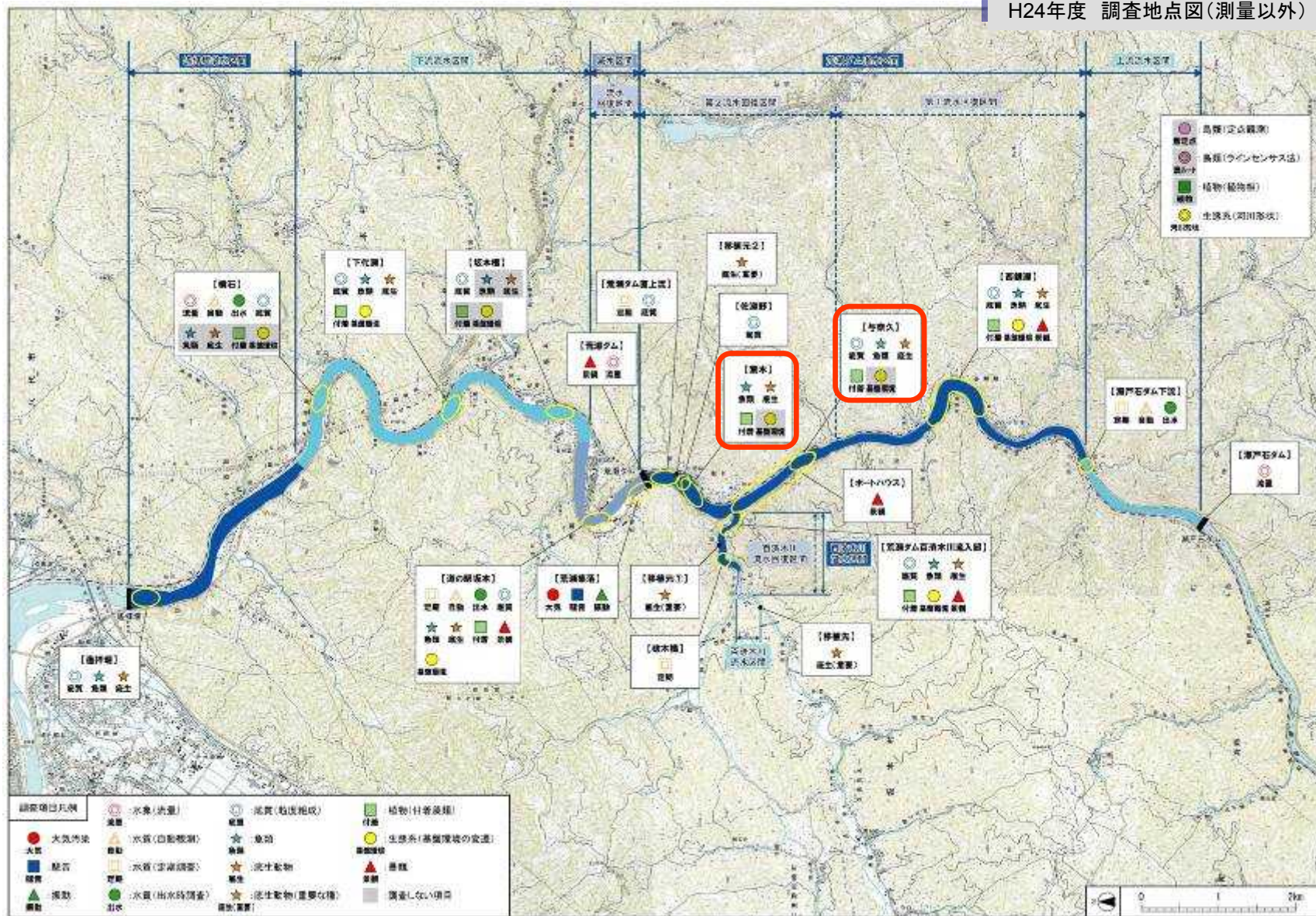
## ■ 調査項目（平成24年度、平成25年度）

調査項目		分析・評価方法
水象	流量	■最大流量の状況等
景観		■景観の経年変化
水質	出水による濁り等	■濁水の流出状況等
	pH、濁度、BOD等	■水質の経年変化等
底質	粒度組成	■代表粒径の分布状況等
動物	魚類	■回遊性魚類の種数等
	底生動物	■河岸の浅瀬に生息する種の種数等
植物	付着藻類	■クロロフィルaとフェオフィチンの比等
	植物	■植物の分布状況等
基盤環境	河川形状（縦断・横断・平面）	■河川形状の経年変化
	定点風景・河床材料	■風景・河床材料の経年変化
粉じん、騒音、振動		■工事による粉じん等の発生状況

## 2 調査計画

- 第二流水回復区間(与奈久、葉木)を前倒しで平成24年度から実施

H24年度 調査地点図(測量以外)



※この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(取本、中津港)を背景図として使用したものである。